

教員詳細情報

|                      |   |
|----------------------|---|
| 氏名                   | 松本 鈴子 (まつもと すずこ)  |
| 連絡先メールアドレス           | matumoto@kyushu-ns.ac.jp  |
| 役職・職名                | 教授  |
| 所属                   | 助産学専攻科,看護学科,看護福祉学研究科看護学専攻   |
| 略歴                   | 看護師基礎教育終了後、助産師課程に進学。助産師として福岡市内の病院産科病棟勤務。厚生省看護研修研究センター看護教員養成課程助産師養成教員専攻修了後、自治医科大学看護短期大学、産業医科大学産業保健学部助手を経て同大産業保健学部講師に昇格。2006年高知県立高知女子大学(現高知県立大学)看護学部准教授を経て2010年看護学部及び同大学院看護学研究科(前期課程)教授に昇格。2016年本学看護学科及び助産学専攻科教授、2018年同大学院看護学専攻科指導教員。   |
| 取得学位                 | 博士(保健学;広島大学),修士(教育学;福岡教育大学),  |
| 担当科目                 | ◆助産学専攻科:助産学概論,生殖形態機能論,妊娠期助産診断・ケア論,分娩期助産診断・ケア論,産褥・新生児期助産診断・ケア論,親子・家族関係構築ケア論,周産期ハイリスクケア論,ウイメンズケア論,健康教育方法論,分娩介助実践演習,助産ケア統合実践演習,母子保健協働論,地域母子健康ケア論,助産業務管理論,周産期リスクマネジメント論,分娩期助産学実習,妊娠・産褥・新生児期助産学実習,ハイリスク新生児・乳児期助産学実習,地域母子保健助産学実習,助産所助産学実習,助産ケア実践研究<br>◆大学院:成育看護特論,成育看護学演習,成育看護研究,看護倫理,看護教育論,看護政策論   |
| 資格                   | 看護師,助産師,受胎調節実施指導員   |
| 専門分野                 | 助産学,母性看護学   |
| 所属学会                 | 日本助産学会,日本母性衛生学会,日本看護科学学会,日本災害看護学会 他   |
| 現在の研究テーマ             | 出産に伴ったトラウマに関する研究、助産学生への教育に関する研究、その他   |
| 教育研究業績<br>(著書・学術論文等) | ◆主な論文・総説等<br>・松本鈴子;助産師教育機関紹介シリーズ,公益社団法人日本助産師会機関誌助産師 Vol.75,No.3,p36-39,2021.<br>・嶋岡暢希,松本鈴子他;生後1~2か月の乳児を育てる母親のMastery,高知県立大学紀要看護学部編,Vol.65,p1-13,2016.<br>・松本鈴子;出産後1か月・3か月・6か月の出産体験に伴う心的外傷後ストレスー健康新生児の母親とNICU入院児の母親の比較ー高知県立大学紀要看護学部編,Vol.64,p1-17,2015.<br>・松本鈴子,岩崎順子他;看護基礎教育における助産学生の実践能力を高める教育方法ー臨床実習指導者用マニュアルの提案ー高知女子大学看護学会誌,Vol.38,No.2,p118-128,2013..<br>・松本鈴子,横尾京子他;産後1か月における出産に伴う母親の心的外傷後ストレスの出現ーNICU入院児の母親と健康新生児の母親の比較ー広島大学保健学ジャーナル Vol.6 No.1,p71-80,2006.<br>・松本鈴子;子どもの虐待予防につながる周産期における助産師の役割,小児保健高,Vol.22,p17-19,2011.<br>・山越彩子,松本鈴子他;分娩期における初産婦のエンパワーメント,日本母性衛生学誌,Vol.52, No.3, p 292,2011<br>・山本圭一,松本鈴子他;子育て中の看護者がワークライフバランスを実現させるための工夫と望みー3歳未満の子どもがいる核家族に焦点をあててー日本看護学会,看護管理,No.41, p181-184,2010.<br>◆主な著書等<br>・基礎から身につくフィジカルアセスメント技術<br>・フィジカル・アセスメント1ー診査技術編ー ・フィジカル・アセスメント2ー看護診断編ー<br>・New Zealand Women's Health Series PREMENSTRUALEXPRIENCE(翻訳:月経のセルフケア)<br>◆その他;助産学生の実習指導マニュアル(2015) ・ぐーちよきばーvol.子どもに伝える生と性<br><科研費代表><br>・2014~2017年度「出産に伴ったトラウマ体験をした女性のレジリエンス尺度の開発」<br>・2011~2015年度「出産体験に伴うトラウマ後の成長過程と看護者のケア提供モデル」<br>・2007~2010年度「出産体験に伴う母親のPTSDを予防するためのガイドラインの開発」<br><科研費分担者><br>・2013~2016年度「父親としてのコンピテンシーを高めるための育児支援システムの構築」<br>・2012~2016年度「乳児期の子どもを育てる母親のMastery獲得プロセスと介入方法の開発」 |
| 研究費獲得状況              |   |
| 社会活動・社会貢献            | 全国助産師教育協議会助産師国家試験プール問題の作成・登録協力員(2022),中芸広域連合保健福祉課コンサルテーション(2014-2017),高知県母性衛生学会理事(2012-2016),高知母性衛生学会学術集会企画・運営委員及び学術集会ワークショップ座長(2014.2015),高知県看護協会「看護研究エキスパート育成研修」指導(2009-2016),高知県看護協会「臨床指導者講習会:母性看護学」講師(2007-2015),いのちの教育(性教育)講師(2010.2011年) 他  |